

	問1：民法改正後の成人式について、対象年齢は何歳が妥当でしょうか		問3：実施時期はいつが妥当でしょうか	
	回答	理由	回答	理由
岩崎委員	ア 18歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>「成人式」は成人としての権利と義務を認識する通過儀礼の意味がある ⇒アフリカ等では抜歯や入れ墨をするなど</li> <li>民法改正で18歳が成年とされ、権利と義務が生じるため</li> </ul>	イ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>「成人式」の名称を使うのであれば、「成人の日」が望ましい ⇒国民の祝日として象徴的な意味があるため</li> <li>式典をしないことも一考の余地があるのではないか ⇒入試等で現実的ではないため</li> </ul>
川原委員	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な議論を重ねたうえで、現行のまま実施することがよいのではない ⇒これまでの恒例行事を大きく動かすことは、負担が大きい ⇒受験の問題や社会的な周知も必要となる ⇒勤務地と出身地で成人式年齢が違う場合、出席の同意を得ることも難しいかもしれない</li> <li>分科会の資料から18歳19歳実施での経済的負担軽減のメリットも大きく、変更する意義も十分にある</li> </ul>	ア 成人の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人の日が設定されているため、社会的同意を得やすいと感じる</li> </ul>
木下委員	ア 18歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下のことから、成人になったなるべく早い時期にするべきと考えるため ⇒様々な権利・義務の主体となり、責任が伴う ⇒様々な責任が伴うことを理解した上で、大人としてのスタートを切る</li> </ul>	イ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月のGW前後</li> <li>祝日のない6月に固定した日を設ける ⇒大学入学や就職などがほぼ決まり、少し落ち着いた頃が望ましいと考える</li> </ul>
北村委員	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般に20歳成人という認識が根付いている</li> <li>若者の意識も20歳＝成人と思っている傾向が強い</li> <li>20歳は、大人の一員になる意識を自覚してもらえらるであろう年齢になっている</li> <li>20歳は、大学生あるいは職業人として多少の社会経験を積み始めている</li> </ul>	ア 成人の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の成人の日を踏襲するのが世間的にもわかりやすい</li> <li>成人の日は固定化した方が認知しやすいと考える（1月15日） ⇒ただし、式典の日をいつにするかは別問題</li> </ul>
河野委員	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人式に参加する意義 ⇒大人としての自覚を持つ ⇒友人たちと旧交を温める ⇒自分を見つめなおす</li> <li>20歳の方が、少し社会を見て自分の立ち位置を図りながら、他者と関わることができる</li> </ul>	ア 成人の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人の日がある以上、きちんと自覚を持つためにこの日が良い</li> </ul>
小松委員	ア 18歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>民法で18歳が成人となるなら、同じ年に開催した方がよいと考えるため ⇒成人年齢が18歳になったことの認知促進にもつながるのではない</li> <li>18歳、19歳が社会や経済的にも積極的な役割を期待されていることを自覚してもらう</li> </ul>	イ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月2日 ⇒大学受験と重なるため、1月開催は難しいのではない （18歳で開催する場合） ⇒新学期から1か月程度経過した時期の方が参加しやすいのではない （学校の入学時期等に変更がない場合）</li> </ul>
菅野委員	ア 18歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>民法改正に伴う成年年齢となるため</li> <li>大人としての自覚を意識するための成年年齢である</li> </ul>	イ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験を考慮するため</li> </ul>
攝賀議長	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年ではなく、成人であるため</li> <li>成年年齢に達しても、飲酒・喫煙等はできない</li> <li>法律上、大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年とある</li> <li>成年後、社会規範や社会通念などを理解し、自覚を持って社会に貢献する時間的余裕があった方がよい</li> <li>受験時期を避けることで負担を軽減できるため</li> </ul>	ア 成人の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人の日“含む三連休”が広く認識されているため</li> </ul>
高橋委員	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会規範を理解し、成人としての自覚を持つことができる ⇒社会人としての経験を2年積むことが必要ではないか ⇒飲酒や喫煙等が認められるのも20歳である</li> <li>18歳は進学や就職活動等で多忙である</li> </ul>	ア 成人の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民の祝日として「成人の日」があるため</li> </ul>
長谷川副議長	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>民法上の成年年齢と成人式の対象年齢が本来は同じ方がわかりやすいと思うが、20歳でもよいのではない ⇒18歳という年齢は受験生でもあり、それどころではない （保護者にとっても進学に加え、振袖等の準備となると経済的負担が大きい） ⇒その学年が全員18歳に達したあとに成人式をすれば19歳ということも言えるが、浪人生にとっては受験という負担がある ⇒成人式の日を3月にするにしても、国立の2次試験や、大学入学の準備等多用な時節でもある ⇒飲酒に関する年齢要件は20歳のままである（改めて成人としての意識を再確認する機会となる）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>どちらともいえない</li> </ul>
星出委員	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>議論が十分になされないまま一方的に進められていると感じている</li> <li>20歳以下の消費者被害などの懸念も拭えない</li> </ul> <p>【参考】  <a href="https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/rippou_chousa/backnumber/2017pdf/20171201064.pdf">https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/rippou_chousa/backnumber/2017pdf/20171201064.pdf</a>                      参議院常任委員会調査室・特別調査室 立法と調査No.395内田亜也子「民法の成年年齢引下げの意義と課題—未来を担う若年者の自立への期待と新たな支援対策の必要性—」  <a href="https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_10982700_po_0979.pdf?contentNo=1">https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_10982700_po_0979.pdf?contentNo=1</a>                      国立国会図書館 調査と情報No. 979「民法の成年年齢引下げをめぐる議論」</p>	ア 成人の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来からの慣例であるため</li> </ul>
小林委員	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>18歳1月に実施すると受験と重なり、出席者が減少するから</li> <li>対象者が集まりやすいから</li> </ul>	ア 成人の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>祝日の場合、対象者が集まりやすいから</li> </ul>
矢野委員	ウ 20歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校3年生という時期に成人式を行うことは就職、受験等もあり、難しいと考える</li> <li>折衷案として19歳という案も各自治体によっては出ているようだが、中途半端と考える</li> <li>飲酒や喫煙などの制約がなくなる20歳を成人とすることが妥当と考える</li> </ul>	ア 成人の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席者にとってもわかりやすいと考える</li> </ul>

【問1】  
18歳：4  
20歳：9

【問3】  
成人の日：8  
その他：4  
どちらともいえない：1

	問4：その他、運営等において注意・検討すべき点	問5：その他（自由意見欄）
	複数回答可	回答
岩崎委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典をするのであれば成人式の名称が良いと思う（時期は検討）</li> <li>・式典をせずに成人の日に該当者にお祝いとともに権利と義務を知らせる内容のものを郵送する</li> </ul>	
川原委員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知期間や運営側の負担を考えると、現状を変えることは難しいと感じる</li> <li>・成人式の年齢・時期の再考はこれまでの課題を考え直す、いい機会である</li> <li>・十分な議論を尽くしたうえで、結論を出すことが何よりも重要ではないか</li> </ul>
木下委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典を開催する意義についても、改めて考える必要があると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市に縁のある著名人に依頼し、成人してよかったことや失敗したことなどのエピソード、新成人に期待すること ⇒メッセージを収録したDVDなどを記念品として贈り、何かの機会に見られるようにするのはどうか</li> </ul>
北村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピードが加速して進む、日本社会あるいは海外社会の現況を知らせる工夫</li> <li>・若者としての独自性を思いきり出せるような講演／映像</li> <li>・楽しいだけでなく、楽しくて意義がある一時だったと思える祝う会にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の心に残る会となるよう工夫をしてほしい ⇒例年の内容に習うだけでなく、企画者や演出者の配慮や工夫を反映させる</li> </ul>
河野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式の開始時間 ⇒もう30分開始時間が遅いと支度をする側としては有り難い（1回目に当たるととてもきつい）</li> <li>・記念品の在り方 ⇒少ない予算の中でよく検討されていると思うが、必要性も含め検討の余地があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学時代よく先生方を困らせた子ほど成人式を楽しみにしている</li> <li>・荒れたりご苦労もあると思うが、今しばらくは現行と同様の成人式で良いように思われる</li> </ul>
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19歳や20歳の式典についても複数日で段階的に実施することを検討する（18歳で実施するとなった初年度）</li> <li>・少年法の改正点や契約を締結できること、婚姻等、発生する責任についての理解を深める資料を提供する（18歳で実施する場合）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法務省の資料や西東京市令和元年度のアンケートからも、対象年齢を20歳のままと考える意見が多い ⇒成年年齢の引き下げに伴い、少年法や契約行為等、様々な責任が発生する そのような変更点を含め考える機会として18歳に成人式を行うことも必要ではないかと考える ⇒新しいことに順応するのが人間のよいところである</li> </ul>
菅野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式は地域性が重視されるため、各地域で検討すべき</li> </ul>	
攝賀議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体は、教育委員会と新成人による実行委員会の合同開催がよいのではないか</li> </ul>	
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名称は「成人式」でよい ⇒日本の伝統であるから</li> <li>・厳粛で清らかな雰囲気の中で儀式的行事として実施してほしい ⇒20年間の成長を振り返り、成人としての自覚を持てる会とする ⇒開催中私語や野次がないような運営形態、方法を期待する</li> </ul>	
長谷川副議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20歳で成人式をするのであれば、「20歳を祝う会」ではどうか ⇒民法上の成人との関係を考慮する必要があるため</li> </ul>	
星出委員		
小林委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式という名称は対象年齢に応じて変更（20歳を祝う会）した方がよい</li> </ul>	
矢野委員		